

良質な道路空間の形成

遮音壁の設置や低騒音舗装の敷設など道路構造対策を実施し、よりよい沿道環境にするための整備を行います。また、無電柱化を進め、災害に強い快適で美しい町並みをつくります。

沿道環境の改善

国道1号や保土ヶ谷バイパス沿線の騒音環境改善を目指します。

騒音に対する改善は、関係機関と連携し、道路交通にともなう騒音が要請限度を超える地域において、遮音壁の設置や嵩上げ、低騒音舗装の敷設を実施しています。

■計画の概要

対象路線	国道1号・16号 ・保土ヶ谷バイパス・246号
対象延長	約69.0km
車線数	2～6車線

令和8年度の事業

調査設計及び環境対策工を推進します。



二層式低騒音舗装(旭区中沢)上り線



二層式低騒音舗装(旭区中沢)上り線

■計画位置図



川崎1号環境整備

川崎市内の国道1号の沿道環境の改善を目指します。

川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めるため、事業を推進しています。

現在、遠藤町交差点から都町交差点の工事を推進しています。

■計画の概要

計画区間	川崎市幸区小向仲野町～同区柳町
規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
延長	約2.8km
車線数	6車線

■計画位置図



令和8年度の事業

調査設計及び用地買収を推進します。

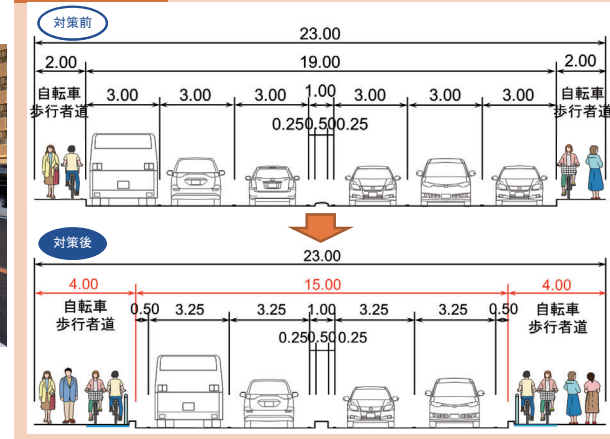


整備前



整備後

整備のイメージ



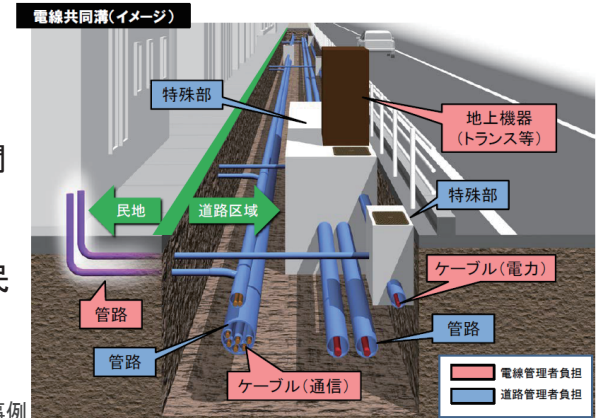
無電柱化(電線共同溝と共同溝)

防災機能が向上し美しい街並みが形成されます。

■電線共同溝

無電柱化(電線共同溝の整備)事業は、「防災」、「安全・快適」、「景観・観光」等の観点から推進しています。

横浜国道事務所では、橋梁やトンネル、幅員の狭い歩道空間を除いた歩道延長約200kmについて無電柱化を推進する計画です。また、併せて、切迫する巨大地震に伴う電柱倒壊に備え、既設電柱の撤去に向けた占用制限の指定や道路の沿道民地に新たな電柱が建たないように、沿道区域届出勧告制度を活用するなど緊急輸送道路の電柱の減少を図っていく予定です。



■災害時の避難や救助活動の迅速・円滑化

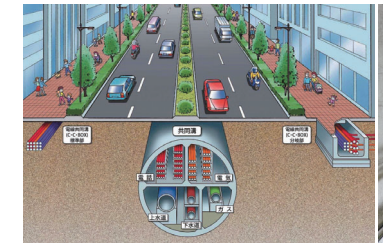


■横浜国道事務所管内での整備事例



国道1号 小田原市国府津地区

■共同溝のイメージ



■共同溝内部の状況



令和8年度の事業

主な事業箇所

- ・国道1号 大磯町西小塩 西小磯(2)電線共同溝
- ・国道246号 秦野市曾屋 曾屋電線共同溝
- ・国道357号 横浜市金沢区 福浦電線共同溝

ほか31箇所



コラム:横浜国道事務所管内で活動する道路関係者、団体へ表彰を行いました

横浜国道事務所管内で活動する道路関係者及び団体へ表彰を行いました。

■道路ふれあい月間

(公社)日本道路協会 道路功労者表彰 高山松太郎氏(前伊勢原市長)
道路ふれあい月間推進標語 一般の部 最優秀賞 宮本修吾さん
道路ふれあい月間 感謝状 横浜中央看護専門学校 鷺沼町会 株式会社日工

■日本風景街道

日本風景街道 関東優秀活動賞〔観光振興への寄与部門〕 東海道風景街道



高山松太郎氏(前伊勢原市長)



宮本修吾さん



横浜中央看護専門学校
鷺沼町会
株式会社日工



東海道風景街道